

★会場：座間市役所 所在地：座間市緑ヶ丘1-1-1

※小田急小田原線 相武台前駅下車 徒歩約15分、または座間駅下車 徒歩約20分

※小田急小田原線 相武台前駅 北口1番乗り場より『台04』『海10』バス「市役所谷戸山公園前」下車すぐ、または南口「相武台前駅南口」乗り場より『座間市コミュニティバス「ザマフレンド号」』にて「座間市役所」下車すぐ

## 【対面開催】 ひとりを孤独と感じさせない社会—幸福な人生について考える—

座間市・相模原市双方に関連するテーマについて、市民大学に参加している各学校の専門分野からアプローチするオムニバス形式。今回は孤立・孤独をテーマとして本講座を開催します。

- ①私たちはこれまでに、イヌがヒトと街のつながりに貢献し、それを介して最終的には個人の幸福度を向上させる可能性を見出してきました。麻布大学わんわんマルシェでは、イヌの飼い主さんと地域住民のつながりを強化することを目指しました。これらの研究が将来的には、先進国最下位の日本のウェルビーイングや、児童や家庭の孤立、地域社会の崩壊などの問題解決にもつながることが期待されます。
- ②この講義では、まず、講師の専門である自殺研究（及び幸福に関する社会科学的研究）の成果の概要について説明を行います。その上で、これらの成果を個人の行動変容だけではなく、社会的変化につなげていくために必要なことについて講師の自殺対策との関わりの経験の中から述べていく予定です。

【受講料】 1,300円

【受講料以外の費用】 なし

【時間・場所・定員】

- 11:30~13:00
- 座間市役所5階
- ① 5-4会議室 ② 5-1会議室
- 定員20名

【講師】 ①麻布大学 獣医学部動物応用科学科

教授 菊水 健史

②和光大学 現代人間学部心理教育学科

教授 末木 新

【開講日と内容】（全2回）

- ① 7月 5日（金） イヌがヒトとヒトをつなぐ  
孤独大国・日本におけるイヌの介在効果
- ② 7月 18日（木） 幸福で死にたくなくなりづらい世界の作り方